2016年3月16日

JX-ENEOSサンフラワーズがWリーグ8連覇達成

記者各位

当社（社長：杉森　務）の女子バスケットボール部「JX-ENEOSサンフラワーズ」は、昨日行なわれました第17回　Wリーグプレーオフ・ファイナル第4戦におきまして、富士通 レッドウェーブに75対66で勝利し、3勝1敗の成績で、8年連続、史上最多となる19回目（日本リーグ時代を含む）のWリーグ優勝を果たしましたので、お知らせします。
この優勝により、全日本総合バスケットボール選手権（皇后杯）との2冠制覇を、3年連続で達成いたしました。

また、吉田 亜沙美選手が、プレーオフにおいて最も活躍した選手に贈られる「プレーオフMVP」を受賞しました。

皆様に多大なご声援をいただき、ありがとうございました。来シーズンもWリーグ9連覇および全日本総合バスケットボール選手権大会との2冠制覇を目指してまいりますので、引き続き、温かいご声援をよろしくお願いいたします。

【プレーオフ・ファイナルの試合結果】

	日付			試合結果		
第1戦	3月10日（木）	JX-ENEOS	○	71－54	●	富士通
第2戦	3月12日（土）	JX-ENEOS	●	78－103	○	富士通
第3戦	3月13日（日）	JX-ENEOS	○	72－59	●	富士通
第4戦	3月15日（火）	JX-ENEOS	○	75－66	●	富士通

【第17回Wリーグ　表彰者】

＜アウォード＞

・プレーオフMVP　吉田　亜沙美　選手　（4年ぶり3回目）

・レギュラーシーズンMVP　渡嘉敷　来夢　選手　（2年連続3回目）

・レギュラーシーズンベスト5　吉田　亜沙美　選手　（2年ぶり4回目）
渡嘉敷　来夢　選手　（4年連続5回目）
間宮　佑圭　選手　（3年ぶり2回目）

・コーチ・オブ・ザ・イヤー　佐藤　清美　ヘッドコーチ　（4年連続4回目）

＜レギュラーシーズン リーダーズ（個人成績ランキングトップ）＞

・アシスト　吉田　亜佐美　選手　（2年ぶり4回目）
・ブロック・ショット　渡嘉敷　来夢　選手　（4年連続5回目）
・フィールドゴール成功率　渡嘉敷　来夢　選手　（2年連続2回目）
・フリースロー成功率　間宮　佑圭　選手　（初）

以　上

0.0
FAIR SPEED
No.1
We are Flowers,
No.1!!
JX-ENEOS